



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く塚小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日: 令和8年6月12日

「育てたい力や心」をみんなのものに

校長 櫻井 亮

本校では、運動会という大きな行事を通して、子どもたちにどのような力や心を育てたいか、ということ職員全体で確認し、取組を進めています。

育てたい資質・能力	・コミュニケーション力	・忍耐力	・自主性				
育てたい道徳性	・希望と勇気	・努力と強い意志	・友情	・信頼	・規則の尊重	・より良い学校生活	・集団生活の充実

上記の育てたい力や心は、教師側(=大人)が考え、指導に反映するだけでなく、子どもたちにも「あなたたちには、運動会を通してこんな力をつけてほしい、こんな心をもってほしい、と思っているんだよ。ぜひ、自分(たち)の成長のために頑張っていこう」と伝え、自分ごとにすることがとても大事だと思っています。



これは、私が1学期の始業式で、子どもたちに「こんな力をつけてほしい、こんな風に成長してほしい」と伝えたものです。

1つ目は、「やってみよう!」…(できるかなあ)(やってみたいなあ)と思っていたことを、自分から動いたり、勇気を出して挑戦したりしてほしいです。

2つ目は、「みんなと力を合わせて!」…仲間と一緒に考え、助け合って、目標を達成したり何かを作り上げたりすることができる力をつけてほしいです。

3つ目は、「なりたい自分へ一歩ずつ」…成功ばかりでなく、失敗も成長のためには必要だと思って、一歩ずつ一歩ずつ成長の階段を登ってほしいです。

言葉は違っても、「保護者・先生・地域の大人が思う“子どもたちへの願い”」と「子どもたちに目指してほしい“成長した自分の姿”」が共有できたら、大人も子どもも一つになって、同じゴール(目標)に向かっていくことができるとと思っています。

運動会本番まで残り一週間。子どもたちの成長のために、大人も共に頑張りましょう!